

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0290
施設名	至誠保育園
施設所在地	立川市錦町6 - 26 - 13
法人名	社会福祉法人至誠学舎立川

1. 活動のテーマ

<テーマ>

【わくわく保育】

表現、創造、造形活動、食育を通して豊かな人間関係を楽しむ

<テーマの設定理由>

日々の保育の中で造形活動や自分の考えを表現し、他児の意見も聞き入れながら人間関係を形成していく

2. 活動スケジュール

5月～当日に向けてのお話、6月16日（月）～Tシャツ作り（個別）
7月14日（月）メニュー名決め、7月18日～23日 野菜切りの練習
7月24日手打ちうどん作り 7月25日（金）わくわく保育
8月 一日の思い出を絵日記に描く

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

Tシャツ、絵具、ランタン作りの材料（ライト、画用紙、シール）フォトフレーム、飾り（ビーズ等）花火
当日は普段の保育室ではなく、他の部屋で食事や活動を行う。
園庭で花火を親子で鑑賞

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

前年度の年長の活動を担当職員からお話。

話を聞いてから『自分たちは、何をやりたい?』『どんなことをしたい?』と話し合いを行う。小グループに分かれやりたいことを出し合う。各グループから出た案をまとめ、今年度の《わくわく保育の一日》の内容を決定。大人から決められたスケジュールで行動するのではなく、自分たちでわくわくする楽しい内容を考えることでそれぞれが意欲的に活動に向かう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

夕食はうどんに決定。粉から自分たちでうどんを作り「やわらかいね」と触感を楽しむ。

うどんと一緒に年中の時に作った味噌をキュウリにつけて食べる。「やっぱり、自分で作ると美味しい」と普段野菜をあまり食べない子も喜んで食べていた。「先生も僕たちが作った味噌食べていいよ」と自慢げに勧めてくれた。

《特別な一日》暗くなるまで保育園で過ごし「夜なのにまだ保育園にいるね」といつもと違う保育園の様子にわくわくしていた。(興奮)最後は園庭で保護者と合流。手作りランタンをもって花火鑑賞を楽しんだ。

終了後は、各々が思い出に残ったことを絵日記に書いた。(絵と文章)書いた絵日記は保護者も通る階段に飾り見てもらうことができた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分たちで決めたことを一日かけて行うことで、意欲的に活動する姿が多く見られた。

困った時も友だちと助け合うことで、困難なことも乗り越えられる達成感を味わい、終了後は年長児としての自信がみられるようになっていた。

毎年実施していることもあり、子どもたちにとって《憧れ》であることを改めて感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0290
施設名	至誠保育園
施設所在地	立川市錦町6 - 26 - 13
法人名	社会福祉法人至誠学舎立川

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語活動を通し、異文化を知り世界への興味を広げていく

<テーマの設定理由>

言語、表現、文化コミュニケーションにつながるツールとして体験していく

2. 活動スケジュール

5月7日、14日、21日、28日・6月4日、11日18日、25日・7月2日、9日、16日
9月3日、10日、17日、24日・10月1日、8日、15日、22日、29日
11月5日、12日、19日、26日・12月3日、10日、13日、17日
1月7日、14日、21日、28日・2月4日、18日、25日・3月4日、11日

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ホワイトボード、CDプレーヤー、絵本、画用紙、色鉛筆、シール

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

英語講師による日常会話や音楽活動

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

絵本や普段から歌っている歌や手遊びを英語で聞いたり歌って楽しむ。また身近な果物や動物の名前を使ってビンゴゲームを楽しんでいる。毎週水曜日は朝から「今日は英語の日！」と楽しみにしている声が聞こえている。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

英語を難しいと思うことなく、楽しみながら身近に感じている子どもの姿が見られている。集団活動が苦手なお子さんも、英語の時間は『自分の得意なこと』と言いほかの時間では見せない表情で参加する様子を見て、一人ひとりの得意なことを伸ばすことが生き生きにつながることを改めて感じた。